

仙台市図書館振興計画2022中間見直し(中間案)に関する意見の概要と本市教育委員会の考え方について

■「Ⅰ 計画の策定にあたって 3. 基本理念と4つの方向性」に関するご意見(2件)

No.	ご意見の概要	本市教育委員会の考え方
1	「様々な理由で困難を抱える方に対し、知識や技能を習得する機会の充実や、より多様で豊かな生き方・暮らし方をめざすマルチステージの人生において、誰もが生涯にわたりいつでも学び続けられる環境が求められています。」とあるが、就職や転職に役立つような資格取得の際、特に教材費が負担となっているので、資格試験取得のための最新の試験教材を置いていただきたい。	誰もが生涯にわたり学び続けられる環境を整備していくことは公共図書館として重要な役割であると考えます。資格取得関連資料は、書き込みなどによる汚損・破損の恐れがあるため、電子図書館で対応しております。今後も本計画に記載のとおり、「あらゆる世代の学びを日常的に支える資料の収集・整理・保存・提供」の取組みにおいて、より多くの方が学びやすい環境の提供に努めてまいります。
2	方向性4について、専門家として職員に求めるのなら、正規雇用で人材が流出していないようにしていただきたい。	質の高い図書館サービスを提供するために、専門的な知識や技術を持つ職員の存在が重要であることから、今後も業務に適した職員の配置と研修の実施に努め、資格の有無にかかわらず職員の資質と専門性の向上を図ってまいります。

■「Ⅱ 方向性と施策(2) 具体的な施策の見直しにあたっての実績評価」に関するご意見(2件)

No.	ご意見の概要	本市教育委員会の考え方
3	図書館の自己評価について、どうしてそのような評価にしたのかわからないので、特に△が付いたものについては、その理由を記述すべき。	方向性ごとに自己評価を行うにあたり、これまで十分な実績を上げられていない施策項目について△「さらなる取組みが必要である」と評価し、「課題」を記載しておりますが、評価の趣旨が明確となるようご意見を参考に、本文に追記いたします。
4	方向性4について、視聴覚資料の購入ペースを早急に上げる事を強く望みます。物価高が終わらない状態や景気や治安が深刻な状態になっている中、利用者が満足する方向性をきちんと示していただきたい。	視聴覚資料は再生機器の生産終了やディスクの市場規模の縮小、映像や音楽のデジタル配信など情報環境が変化していることから、本計画においても長期的視野から公共図書館における視聴覚資料の収集・保存・提供のあり方の検討やメディアの変遷を踏まえた資料構成の見直しについて記載しております。ご意見を参考に、市民の多様なニーズに応じたサービスの充実に努めてまいります。

■「Ⅱ 方向性と施策(5)主な施策」に関するご意見(7件)

No.	ご意見の概要	本市教育委員会の考え方
5	仙台市文学館ともっと連携してイベントや図書館活用の推進等していくべき。文学に明るい人向けの印象なので、こども向けや仙台ゆかりの現役作家なども取り上げていただきたい。	本計画でも多様な専門性を持つ社会教育施設等と連携して、新たな学びを創出し、市民の生涯学習活動を支援すると記載していることから、仙台文学館との連携についても検討してまいります。
6	<p>若林区沿岸地域(荒浜・井土地区等)は、東日本大震災以降、復興まちづくりが進められてきた一方で、日常的な文化・学習環境の充実については課題が残されている。特に、図書館サービスは、 ・最寄りの図書館までの距離が長いこと ・高齢者や子ども、交通手段の限られた住民にとって利用のハードルが高く、沿岸地域に暮らす住民が等しく読書・学習・情報に触れる機会が十分とは言えない状況にある。図書館は、単なる貸本の場にとどまらず、 ・生涯学習の拠点 ・子どもの読書活動の推進 ・地域コミュニティの形成 ・災害の記憶や地域資料の継承 といった重要な役割を担う公共施設であるので、若林区沿岸地域における図書館サービスの拡充について、以下のような施策をご検討いただきたい。若林区沿岸地域に暮らす人々が、住む場所によって文化的・教育的機会に差を感じることはないよう、図書館サービスの一層の充実を強く希望します。</p> <p>①移動図書館の巡回回数・滞在時間の拡充</p>	令和5年6月に地下鉄東西線荒井駅構内に荒井サービススポットを開設し、多くの方に利用していただいているところです。文化的・教育的機会の公平性という観点も踏まえ、身近な地域で利用できる移動図書館の運用のほか、アウトリーチ型事業による図書に親しむ機会の創出など、方向性3に掲げる「誰もが使いやすく、どこに住んでいても情報が身近に届く、市民一人ひとりに利用しやすい図書館」を目指して取組みを進めてまいります。
7	②沿岸部の公共施設等を活用した図書館サービススポット(予約本受取・返却拠点等)の設置	
8	③子ども向け読書活動や地域住民向け講座等の出張型図書館事業の実施	
9	④将来的な常設型図書館機能(分室・小規模拠点等)の可能性についての調査・検討	
10	分室・サービススポットや移動図書館のおかげで、フレイル防止になっていると思う事があり、非常に助かっているため、今後も継続をお願いしたい。	分室・サービススポットや移動図書館における図書館サービスの提供は、これからの超高齢社会の到来を踏まえると仙台市図書館として重要な施策と考えております。ご意見を参考にサービスの継続に努めてまいります。
11	市民とともに図書館づくりをすることはいいが、ボランティアに頼りすぎないで欲しい。人口減少と昨今の物価高などで共働きや定年後の再雇用の人も多いうえ、人口も減少している。きちんと雇用して確保していく必要があると考えます。	ボランティアの役割・分担・目的を明確にした市民協働体制を進めるとともに、ご意見を参考に、引き続き良好な図書館運営に向け、必要な職員の配置に努めてまいります。